

平成29年みよし市がんばる地域応援補助事業審査会 次第

日時 平成29年11月29日(水)

午前10時から

場所 市役所 3階 301会議室

- 1 あいさつ
- 2 団体プレゼンテーション
- 3 審査
- 4 事業採択について
- 5 平成29年度 みよし市がんばる地域応援補助金ふりかえりシート
(平成28年度審査分) の中間報告について

プレゼンテーション タイムスケジュール

10:00~10:10	(10分)	あいさつ・日程確認
10:10~10:20	(10分)	櫛 (KUNUGI) プレゼンテーション
10:20~10:30	(10分)	質問
10:30~10:35	(5分)	団体退場・採点・団体入場
10:35~10:45	(10分)	打越行政区 プレゼンテーション
10:45~10:55	(10分)	質問
10:55~11:00	(5分)	団体退場・採点・団体入場
11:00~11:10	(10分)	休憩
11:10~		協議・採決

みよし市がなばる地域応援補助金 団体への質問事項

団体名 櫛 (KUNUGI)

質問事項	回答
1 長寿介護課や長寿医療センターでは講座で使用されていますが、一般的に馴染みがなく、「コグニサイズ」とは何ですか。	1 「コグニサイズ」とは、国立長寿医療研究センターが開発した運動と認知課題(計算ドリルなど)を組み合わせた認知症予防を目的とした取り組み、統合された造語。英語の cognition(認知)と exercise(運動)を組み合わせた cognicise(コグニサイズ)と書く。
2 別紙(2)5の(地域課題の背景)にある高齢者とは何歳を指しますか。また、その人口、行政区の全人口は何人ですか。	2 65歳以上の方を指します。 平地行政区 平成29年11月1日現在 全人口 354名 65歳以上人口 154名
3 別紙(3)6の(1)内容の項に月2回実施とありますが、「櫛」を実施するのか、「コグニサイズ事業」を実施するのかどちらですか。	3 「櫛」は同じ年で、コグニサイズ事業を実施します。
4 別紙(3)6の(2)の対象としている全人口が不明なため確かなことは言えませんが、現在20人/毎回であり、目標が30人(1~2年)、最終40人では、低いではありませんか。	4 この事業は、高齢者に対して、住み慣れた所で、気軽暮らせる地域を目標としています。その為に届かざる対象は、まず家族(世帯)で考えました。 現在平地行政区の高齢者世帯数は42世帯です。 その方5名を対象に1年事業を展開します その世帯から1人ずつを合計して11名に17名ほどを定めます。
5 別紙(3-2)(3)の「あいちNPO市民ネットワークセンターに運営支援を依頼する」とありますが、具体的にどのような項目、課題を支援してもらいますか。また、これまでに相談をし、どのようなアドバイスをもらいましたか。	5 ・目標を現実に近づけるには、活動を継続していくことが大事なことから、継続する体制づくりが重要 ・事業を実施するにあたり、内容の整理・評価の方法のアドバイスやアンケート支援 ・事業を成功させるための、事業内容を言葉に言い換えて支援や広報(ニュース)作成、などです。 この中で相談は、この補助金申請書の申請書作成の指導 具体的には、①やりたいことの目的を絞り、目標を決めること ②平地行政区の高齢者の現状と高齢者の問題の確認 ③今年度実施したい中でどういったか ④行政区との話し合いと支援 ⑤事業は中心は認知症で、基本認知症で取り組む実施方法と支援の項目を定めました。

みよし市がんばる地域応援補助金 団体への質問事項

団体名 櫛 (KUNUGI)

質問事項	回答
6 行政区や長寿会、民生児童委員など、地域とどれくらい情報共有のための打ち合わせを行いましたか。	6 区長とは、必要に応じて打ち合わせを行いました。 長寿会とは、月1回の例会に参加し打ち合わせは毎月行いました。 団体のメンバーは、民生児童委員がいるので、メンバーが集まる毎に行いました。
7 全体的に明確・具体性に欠けているため、目指す姿勢がイメージできません。コグニサイズ事業とは、現在進められているコグニサイズ運動の普及と異なる点はどこですか。また、目的の具体性と特色を教えてください。	7 コグニサイズの認知症予防導入。
8 「櫛」の会則の中にある第4条(7)を今回の補助金を使用し、行おうとしているのですか。また、「コグニサイズ事業」との関係はどのようになっていますか。	8 この30年の事業の中では実施しません。
9 周知方法について、区の回覧や集会場へ予定表の掲示とありますが、新規の参加者を増やすための工夫は、どのようなことを検討していますか。	9 ・個人的な声かけ ・長寿会への会合に参加、実践指導し参加を促します。
10 将棋、囲碁、マージャンなどの集いがあれば、そこに男性が多く参加していると考えられます。その参加者を脱得する方法を考える、また、そういった集いがない場合は作ることで、男性会員を増やすきっかけになると考えますが、いかがでしょうか。	10 施設の狭いため、現在では差はついていません。 質問7と実現するためには、運動と認知症予防を一緒に行う必要があると差はあります。 将棋、囲碁、マージャンは脳トレです。マージャン作りには、足りませんが、あくまでも運動と脳トレを融合させた事業を行いたいと考えています。 長寿会での実践指導を通じて、男性が興味を持ってくれるようには内容を取入れています。

みよし市ががんばる地域応援補助金 団体への質問事項

団体名 櫛 (KUNUGI)

<p>1 1 講師代として毎年12万円を予定していますが、事業終了後の講師代の財源はどのように考えていますか。</p>	<p>1 1 県の会費で行うようにしています。</p>
<p>1 2 地域課題の1つである見守りと連携、防災に関する事業は、どのような実施方法、管理体制を考えていますか。</p>	<p>1 2 この見守り連携は、コグニサイズ事業を月2回行う中で、参加者が履き合せる時の見守りや、その中で連携がうまれます。また、防災トピックは、メンバーで女性消防員がいます。平地の防災課題をこの中で取り入れたいです。そこで、防災・防災時業を月2回のコグニサイズ事業の中で、主に講座として実施したいです。 管理は、コグニサイズ事業として行うので、別の体制は考えていません。</p>

7. 現在実施されているコグニサイズ運動は、長寿介護講座が、認知症「コグニサイズリーダー養成講座」と受講者が実施されていると聞いています。長寿介護講座は、このコグニサイズを認知症予防や介護予防に役立てようという事で、指導者と講座で養成されているので、その後の取り組みについては、参加者が主体的に実施していただくという事になります。
お達の事業は、平地地域が、年を取ると、元来は住み慣れた所で暮らす地域でありたいという想いで、元々今から認知症予防や介護予防というコグニサイズを中心に健康づくりと地域づくりの場づくりを大切にしたいと思っています。
目指す姿勢は、平地と一緒に元気で暮らすことと、高齢になっても、認知症への不安、健康への不安、生活不安や介護不安、いざという時の相談や減らす外出の機会も減らすこと、この不安を少しでも減らす、解消する事業にしたいと思っています。
団体メンバーは、この中で地域を、いざという役割を担ってほしい（今も担っています）
この場づくりや、関係する人にも協力して頂き、防災などの地域課題についても、情報提供や実践の場としていきたいと思います。

みよし市がんばる地域応援補助金 団体への質問事項

団体名 打越行政区

質問事項	回答
1 「コールこすもす」の会則はありますか。今回の事業のために改訂しますか。	1 「コールこすもす」の会則は文書にしてありませんでしたので、今回文書にて制定しました。改訂の予定は現在ありません。今回の事業のために改訂する必要があれば随時改訂します。
2 「会員募集」とあるが、「コールこすもす」では、これまでどのような募集活動を実施してきましたか。その成果も教えてください。	2 これまでは、メンバーが知人や友人を誘って募集をしていました。また文化祭などの発表会の機会に団員の募集をしていました。
3 市民の交流を図る方法として、「コールこすもす」や歌声喫茶を計画されているが、不特定の区民（打越区全域から参加者を募ると記載あり）に参加してもらう方法として、回覧板等の募集活動には限界があり、従来程度を脱しきれないのではありませんか。イベント的な催しを利用し、「歌うこと」を紹介して一気に認知度を上げる方法などが必要かと考えられますが、回覧板以外にどのような方法を考えていますか。また、今まで男性会員がいなかった原因は何だと考えますか。	3 一気に認知度を上げる方法の最も有効な方法はみよし市がイベント(例えばロビーコンサート)としてサンアートにて、歌声喫茶を開催すること。文化協会が主催している合唱交換会で参加者・聴取者全員で歌うことをして、広報などで一気に認知してもらうこと。 打越区としては、打越区の文化祭や長寿を祝う会などで実施することで住民に認知してもらう方法を考えています。 今まで男性会員がいなかった原因は混声合唱を予定していなかった為です。また混声合唱にするためには、10名以上の男性メンバーが望まれるが一度に募集することは、難しい。 歌声喫茶なら男性1名でも参加可能で参加もしやすい。
4 会員を集める工夫について、グランドボール、ウォーキングが終わった後、その仲間喫茶店へ行くなどの情報を利用してはどうですか。また、子どもの夏休み体操の様に、参加した証を管理する仕組みを取り入れてみるのはどうですか。	4 質問のとおりであり、いろいろな機会を捉えて参加者の増加を図ります。
5 事業計画6の「歌声喫茶を・・・」とあるが、「歌声喫茶」開催のノウハウの習得方法に関して、いつ、だれが、どのようにして行いますか。また、参加費はどの位を想定していますか。	5 「歌声喫茶」開催の習得方法はコーラスの練習時に合唱曲だけでなく、「歌声喫茶」で歌う曲目を随時取り入れていく方法を取ります。これにより「歌声喫茶」の開催時にコーラスのメンバーがリード役を担当することができます。開催のノウハウについては、別添資料の幸田町に運営等のノウハウを「コールこすもす」および区の文化部が教えていただきます。

みよし市がんばる地域応援補助金 団体への質問事項

団体名 打越行政区

質問事項	回答
<p>6 事業計画6の「練習に、歌声喫茶の方法を」とあるが、歌声喫茶の方法とは具体的にどのような方法ですか。</p>	<p>6 「コールこすもす」は女性合唱であり、パートにより音階が異なる。が歌声喫茶は斉唱であり、誰でも簡単に参加できる。「コールこすもす」の練習時に斉唱を練習することは難しいことではない。</p>
<p>7 事業計画7に「歌声喫茶を開催する、指導者とピアノ伴奏は専門家に・・・」とあるが、「コールこすもす」の指導者とは異なりますか。指導者、伴奏者ともに依頼先の目処はたっていますか。また、費用が見込まれていませんが、参加費でまかなうのですか。</p>	<p>7 打越区の文化祭(例年11月に開催)では、指導者とピアノ伴奏は専門家に依頼したい。指導者、伴奏者ともにコールコスモスの方に依頼したい。よって費用計上していません。11月10日幸田町の「うたごえ喫茶あじさい」を見学しましたが、指導者(司会進行役)は誰でもシナリオさえあれば出来る。と思いました。</p>
<p>8 「コールこすもす」の協力が第一とありますが、「コールこすもす」の会員の同意はとれていますか。</p>	<p>8 当該申請の認可が未定であり、会員には話していないが、会員にとって練習時や開催時の負担は少ない。会員の同意は得られる見込みです。</p>
<p>9 事業目的の欄に、『合唱団{コールこすもす}の活動を充実する。』とあり、地域の課題を解決するための制度であると考えますが、何故合唱団を充実させる必要があるのですか。</p>	<p>9 合唱団の活動を充実させることが地域の課題を解決する手段の一つと考えられるためであり、カラオケを楽しむ方もいればランドゴルフを楽しむ方もいる。大きな声を出すことは、医療介護の場でも有効な手段として取り入れられており、みんなで歌うことは連帯意識の向上に繋がる。</p>
<p>10 地域課題との関連の欄で、『地域住民の連帯意識が希薄化していることから、地域合唱団活動を拡大推進する』とあるが、連帯意識が希薄化していることと、合唱団活動の拡大推進との関連性は何ですか。</p>	<p>10 合唱はカラオケとは異なり、メンバー全員の協力がかければ成立しない。連帯意識が希薄化している原因は地域住民が定期的に集う機会が少ないためであり、当該事業も連帯意識の向上の手段として活動を推進したい。</p>

みよし市がんばる地域応援補助金 団体への質問事項

団体名 打越行政区

質問事項	回答
<p>1 1 「合唱団コールこすもす」の組織の規約等はどうなっていますか。また、会計は独立したものとなっていますか。</p>	<p>1 1 「コールこすもす」の会則は従来は文書にしてありませんでしたので、今回文書にて制定しました。改訂の予定は現在ありません。今回の事業のために改訂する必要がある場合は随時改訂します。「コールこすもす」の会計は独立しています。区の会計とは関係ありません。</p>
<p>1 2 事業計画の中で、定期演奏会や歌声喫茶の開催、回覧板をあげていますが、収支予算書にそれらの活動に関する費用の計上されていないのですが、費用はかからないのですか。</p>	<p>1 2 定期演奏会は参加者の負担を予定しています。 歌声喫茶の開催は通常は「コールこすもす」と一緒に行うこととするので 不要。 独立して開催する場合には、各種の補助金・区の支出を依頼する予定です。 イベントとして行う場合には、将来的には参加者に負担していただくことも検討します。</p>
<p>1 3 事業により期待できる効果の欄で、ピアノ設置で練習環境が整うこと、発表会、歌声喫茶が開催できるとありますが、地域課題の解決にどのようにつながりますか。</p>	<p>1 3 合唱団の活動を充実させることが地域の課題を解決する手段の一つと考えられるためであり、カラオケを楽しむ方もいればグランドゴルフを楽しむ方もいる。大きな声を出すことは、医療介護の場でも有効な手段として取り入れられており、みんなで歌うことは連帯意識の向上に繋がる。</p>
<p>1 4 ピアノの購入とありますが、ピアノ以外の安価なもので対応するのはどうですか。</p>	<p>1 4 合唱団の活動にはピアノ伴奏が不可欠、エレクトーン等では、対応出来ないと思います。 いろいろな合唱団がありますが、ピアノのある会場を探して練習しています。</p>
<p>1 5 歌声喫茶を単独で立ち上げることは難しく、コールこすもすの活動に並行してスタートすることを考えており、そのため練習環境・機材の整備をしないと進めないとありますが、環境整備等の重要性とは何ですか。また、他にはどのようなことが課題として考えられますか。</p>	<p>1 5 歌声喫茶やコールこすもすの活動には ①周辺住民に迷惑にかからない練習会場が必要だが、公民館ホールにピアノがなく、児童館の古いピアノを利用している。児童館は空調設備がなく、夏は窓を開けて練習しているため、周辺住民に迷惑がかかる。 ②合唱曲にはピアノ伴奏が不可欠である。歌声喫茶にもピアノ伴奏が必要。</p>

みよし市がんばる地域応援補助金 団体への質問事項

団体名 打越行政区

<p>16 打越行政区の文化部が歌声喫茶を担当するとされていますが、文化部の中でどのように運営（開催日程や時間など）するかを話し合っていますか。また、「みんなの歌声で打越を元気にしよう」事業を行政区として、どう実施していきますか。</p>	<p>16 現在の文化部部長には、計画を報告している。具体的な練習日程等については、協議していない。しかしながら、幸田町の開催状況を見学させていただいたが、リーダー（指揮者）の負担はそれほどではなく、通常の司会者でも可能と思えます。 打越文化祭（11月12日開催）のメニューに追加して開催すること最適と考えます。</p>
<p>17 事業の内容にコールこすもすの会員募集とありますが、何故行政区が一団体の会員募集をするのですか。「みんなの歌声で打越を元気にしよう」事業が特定の団体の活動ではなく公益活動となるよう、不特定多数の区民が参加しやすい方法を考えてみてはいかがですか。</p>	<p>17 「コールこすもす」の会員募集などの運営については、「コールこすもす」が行う。歌声喫茶については打越行政区の行事として行う活動は行政区が広報・募集等を行うが、「コールこすもす」の練習日の中に歌声喫茶（斉唱）を行うことを住民に周知することは、連名で行うことは可能と思います。</p>

平成29年11月14日

みよし市がんばる地域応援補助金提案の追加資料

1. 幸田町民会館で開催されている《うたごえ喫茶 あじさい》を見学してきましたので、報告します。

① 日時 平成29年11月10日 14時20分から15時まで

② 場所 幸田町民会館

(額田郡幸田町大字大草字丸山60 0564-63-1111)

③ 面談者 幸田町文化振興協会 会長 桐戸 博康 様
当方 打越区 会計 光岡一裕

④ 開催状況

- ・ 今回11月の開催が第74回(6周年)であるが、定員200名のところ、これまでほぼ完売を続けている。
- ・ 参加費800円 歌集の冊子を100円で貸与している。
- ・ ドリンクはペットボトル1本
- ・ これまで赤字になったことは一度も無い。
- ・ 指揮者・ピアノ伴奏は東京の「ともしび」に依頼している。
- ・ 参加者の7~8割は女性
- ・ 開催時間 前半 13時30分から14時20分
後半 14時40分から15時30分

⑤ 対象として

- ・ 指揮者はそんなに難しく無い。次に歌う曲目の案内が主であり、指揮者がリードして歌うことはあまり無い。参加者に歌ってもらうことを重視している。
- ・ 曲目は参加者の年齢(60代~70代が多い)に合わせた歌が多い。
例 みあげてごらん夜の星を
高校三年生
リンゴの唄

